

SDGs についての Q & A

【熊本県子ども会連合会】

Q1 皆さんに質問です。このマークは何でしょうか。



A：2015年に国連で採択された「2030年までの達成をめざす17の目標のマークです。」

Q2 なぜ、17の目標が作られたのでしょうか。

A：人類は、貧困、紛争、気候変動、資源の枯渇などの多くの課題に直面しています。このままでは、安定した暮らしを続けることができなくなってしまいます。そこで、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を解決するために17の具体的な目標を作りました。この目標は、持続可能な世界の実現をめざしているため、「持続可能な開発目標（Sサステナブル Dディベロップメント Gゴールズ）」と呼ばれています。

Q3 SDGs（エスディーゼーズ）は誰がどんなことを行うのですか。

A：国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めた全ての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。

Q4 日本は、どんな取り組みを進めているのですか。

A：日本政府は、2016年5月に「SDGs推進本部」を立ち上げ、「SDGsアクションプラン」を進めています。例えば、教育（ゴール4）では「平和と成長のための学び

の戦略」、海洋環境（ゴール 14）では、「海洋プラスチックごみ対策」などを積極的に進めています。

Q5 熊本県は、どんな取り組みを進めているのですか。

A：SDGs に積極的に取り組む企業や団体等を後押しし、県内のSDGs の取り組みの裾野を広げるため、登録制度が令和3年4月からスタートします。

Q6 熊本県がすすめるSDGs 登録制度に参加するにはどうすればいいのですか。

A：2030年に向けてSDGs の取り組みを推進することを、熊本県が公開している登録申請書とチェックリストにまとめて提出し認められれば、登録となります。

Q7 熊本県の登録制度のメリットは、どんなことがありますか。

A：SDGs の達成に積極的に取り組む企業等として、県ホームページで熊本県SDGs 登録申請書とSDGs 達成に向けた取り組みチェックリストを掲載するなど、対外的にPRされます。また、登録事業者はオリジナルロゴマークを名刺等に使用することができます。登録料は、無料です。

Q8 SDGs を進めるために子ども会が行う活動では、どんなことが考えられますか。

A：海と陸の環境（ゴール14・15）では、資源を有効的に繰り返し使うリサイクル（資源回収）、持続可能な社会づくり（ゴール1～17）では、地域活動への参加・参画、地域の清掃・ボランティア等に取り組むことなどが考えられます。

ということは、今まで子ども会活動で取り組んできたことがSDGs の視点から価値付けられ、これまで以上に自信を持って取り組むことにつながることを期待できます。例年通りの活動にマンネリ化しているのではないかと感じておられる子ども会もあったと思われますが、SDGs を関連付けることによって自信をもって活動に取り組み、活動の質も高めることができます。

皆さん、SDGs の取り組みについてどう思いましたか。未来を生きる子どもたちへ私たちはどうするべきなのでしょう。会員の皆さんの率直な気持ちを「SDGs 宣言」として投稿してみませんか。
